

大切に守られてきた古処山

●発行日 平成25年(2013年)11月1日 ●発行所 朝倉市・朝倉市環境アクション協議会 かべ新聞編集委員会 〒838-0062 福岡県朝倉市堤4-6 電話 0946-23-1153 (朝倉市 環境課)

特別天然記念物 ツゲ原始林

古処山の山頂は石灰岩からなり、白山権現をまつところから「白山」とも言われています。9世紀から修験道の霊場が開かれ、13世紀のはじめから約400年間は、領主秋月氏の山城がありました。山頂付近は、ツゲの原生林があり、昭和2年4月8日に国の天然記念物に指定され、さらに昭和27年3月29日にトキや阿寒湖のマリモなどとともに「古処山ツゲ原始林」として特別天然記念物に指定されました。指定区域の大半をオオヒメツゲが占め、これにホンツゲとマルバツゲを合わせるとツゲの割合が80%を越え、全国的にも最高のツゲ林とされています。

多くの登山客が、四季折々に古処山を訪れ、山頂の石灰岩の岩の上で、体を休めるとともに、その時期の岩肌や動植物を心に刻んで下山します。

古処山の宝にじっくり触れると、先人達が厳しく古処山を守ってきたことに、改めて感謝します。

※特別天然記念物とは、動物および植物のうち学術上貴重でわが国の自然を記念するもの(天然記念物)のうち、世界的にまた国家的に価値が特に高いもの

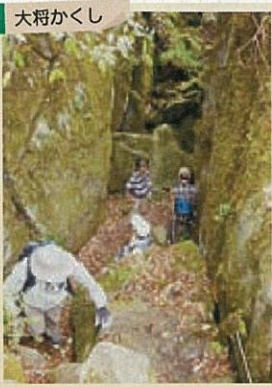
登山ガイド

秋月からは、野鳥のバス停から、谷川沿いに登っていきます。別ルートで5合目までは車で行くこともできます。秋月の町から杉林が逆三角形に見える区域「三角形」に登ると、八合目付近の「水舟」につきます。左へ進むと古処山山頂へ、右へ進むと山城である経ヶ峯へ、古処山山頂から東へ行くことができます。古処山山頂から東へ行くと、「大將隠し」(奥の院)の案内板があり、北側の斜面を降りていくと、切り立った岩の大きさに触れることができます。

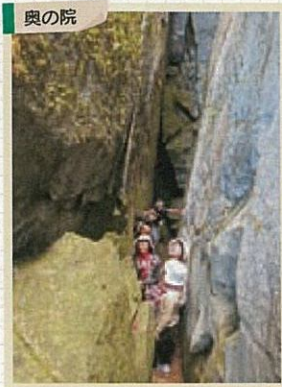


ツゲ林の宝石「ニシキキンカメムシ」と林内に生える植物たち

古処山には、和名からして分かるように、とてもきれいなニシキキンカメムシが生息しています。初めてニシキキンカメムシに出会ったとき、宝石を見るように感動するでしょう。ニシキキンカメムシの幼虫は、ツゲを食草としており、古処山の石灰岩とツゲ、ツゲとニシキキンカメムシは、深いつながりがあるのです。ニシキキンカメムシは、福岡県の準絶滅危惧種とされています。山頂付近では、ヒトリシズカ(春)、オオキツネノカミソリ(夏)、ジンジソウ(秋)などの草花が、四季折々に彩りをそえています。



大將かくし



奥の院



ニシキキンカメムシの5齢幼虫



ジンジソウ



オオキツネノカミソリ



ヒトリシズカ

毎月第2週は
きらきら美花美花
週間
きららちゃん

掲載期間 平成25年11月1日~平成26年3月15日まで

環境保全活動紹介

護美の会

石地蔵のご利益で不法投棄ゼロに

シリーズ
第12回

会員16名で構成された「護美の会」(会長:田中幸一)は、地域の不法投棄の防止に向けた環境美化活動を行っています。以前は不法投棄が絶えなかった場所は、定期的な草刈りや花植え作業と、しめ縄を張った「石地蔵」のご利益で、いつも美しく保たれています。



志波小 柿づくり おいしい柿ができたよ

志波小学校(校長:藤田 卓 全校44名)では、特産品である志波柿をPTAと協力して隣接する柿畑を借りて作っています。子どもたちは地元でありながら柿を作ったり手伝ったりする機会が少なくなっており、数年前より体験学習の一環として実施しています。柿づくりは1年中作業がありますが、子どもたちは摘みと収穫を行います。収穫した柿は11月に開催される志波の市収穫祭などを訪れた人に配布しています。菅原博矢くん(5年生)は「柿を作るのは大変だけれどおいしい志波柿ができてうれしいのでこれからもがんばります。」と話していました。

※摘みとは、大きな実を作るために、余分なつぼみを取り除くこと

